

令和8年度 伊東市立南小学校グランドデザイン

学習指導要領 「生きる力」 静岡県教育委員会 「未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現」 伊東市教育委員会 「夢や希望を育む学校」			
(現状) ・自分や友達よさに気づくような指導を心掛けており、見つけている子が多い。 ・交通ルールを守ったり、マナーが良かったりする子とそうでない一部の子がいる。 ・学校行事や縦割り活動に進んで取り組む姿が見られる。 ・気持ちのよいあいさつができる子供とできない子供の差が大きい。 ・保護者は、人のことを思いやる子や心身共にたくましい子に育てたいと願っている。		【学校教育目標】 学ぶ子 やさしい子 たくましい子 【重点目標】 ① りに役立つ力を学び ② なかまと共に気持ち良く ③ みんなで磨こう良いところ	課題 ・家庭学習や読書の習慣が身に付いていない児童が多い。 ・話し合い活動で自分の意見を伝えられる子が多くない。 ・ふるさと伊東が好きである割合は多いが地域の行事が少なく、学区が吉田、玖須美区、川奈にまたがっているため、学校と地域との結び付きが弱い。 ・いじめのない学校、子供のサインの的確な見取りを期待している保護者が多い。全般的には協力的であるが、無関心な家庭も多い。
目 標	○未来に役立つ力を周りの人、物、事と関わる中で学ぶ子 (知)	○仲間と共に気持ちの良い心で学校生活を送る子 (徳)	○みんなが良いところを見つけ合い、自分の良さを磨く子 (体、表現)
主 実 践	◎子供も先生もわくわくする授業 ・意図的な関わり合いの場を設定する ・課題解決力や創造性を育む授業を行う ・デジタル教材を効果的に活用する ・ユニバーサルデザインを意識した授業を行う ・教科の特性を感じることでできる授業作り ○南小の学びの土台づくり ・聴き方・話し方の指導をする ・基礎基本の定着を図る ・自主学習が習慣化できるよう手立てを打つ ○地域から学ぶ、地域で学ぶ学習 ・地域に出る、地域の人を招くなど積極的に地域の人や物と繋がるような学習を行う	◎気持ちの良いあいさつの習慣化 ・いつでもどこでも互いに気持ちの良くなるあいさつを交わす ・自分に感謝、相手に感謝、周りに感謝の気持ちを伝える機会を設ける ○規範意識の育成 ・「南っ子5つの約束」を徹底する ・「そろえる」ことによる感性を育む ・自分、相手、周りのことを考えた行動をとる ○安心できる学校づくり ・いじめなし100%を目指すと同時に、いじめへの適切な対応を行う ・不登校児童への適切な対応を行う ・多様性に認め合い、個を磨く ○安全意識の向上・環境づくり ・実践的な避難訓練を実施する ・交通安全指導を充実させる ・安全点検後の早期対応の徹底をする	◎自分の良さを発揮できる行事 ・3大行事（運動会、音楽発表会、児童大集会（6送会））で自分のよさを発揮する ・実施後の振り返りを行い、学校生活を豊かなものにしようとする。 ○話し合い活動の充実 ・自分たちの生活をより良くするための本気の話し合い活動を行う ○思いっきり運動、元気に遊ぶ ・運動の習慣化を図る ○健康的な生活習慣の確立 ・健康タイムを行う ・メディアコントロールを行う ・食育を推進する ○学びの場にふさわしい環境作り ・時間いっぱい、黙々と清掃する ・良さを発揮できる場を整える
児 童	南 小 の 自 慢 の 伝 統		
	学びを楽しむ	気持ちの良いあいさつをする	自分の良さを発揮する
児 童 評 価 項 目	○学ぶことを楽しんでいる 83%→85% ○授業の内容がよく分かる 88%→90% ○ICT機器を使った学習は分かりやすい 93%→95% ○家で学年×10分の勉強をしている 67%→80% ○ふるさと伊東が好きである 94%→95%	○学校が楽しい 90%→95% ○友達や先生に気持ちのよいあいさつをしている 83%→90% ○家族や地域の人に気持ちのよいあいさつをしている 82%→90% ○いじめはどんな理由があってもいけない 95%→100% ○交通ルールを守る 96%→100%	○目標に向かって取り組む 92%→90% ○自分に良いところがある 85%→90% ○自分の思いを周りに伝える 79%→85% ○行事に進んで取り組む 92%→90% ○休み時間に身体を動かしている 83%→90% ○隅々まで掃除している 92%→90%

【学校経営目標】 感度を磨き 対応をしなやかに ～子どもが主体・幸せの循環～

- 常に子供を中心においた学校運営
- 関わり合い互いに認め合う教職員集団
- 地域と積極的に関わる学校
- 何かをしたくなる環境創り